

平和

小学校高学年

中学校

高校

社会

総合

道徳

世界・わが心の旅  44分

中国 ありがとう 屋根裏の日々

(2000年放送)

この番組の良さ



敗戦後の日本への感情

漫画家・ちばてつやさんには50年以上探し続けてきた命の恩人がいます。旧満州の奉天(現・瀋陽)で暮らしていたちばさん一家は、終戦後、反日感情の中で市内を転々としていました。彼らを一冬屋根裏部屋にかくまってくれたのが、父親の同僚でした。屋根裏で幼い弟たちに描いてやった絵物語が、最初の「漫画」だったそうです。恩人を探し求めるちばさんは、かつての日本と中国の不幸な関係に改めて思いを向けていきます。

あいたい人への思い

「今の自分があるのは徐集川じょしゅうせんさんのおかげ。会ったら一言感謝を言いたい。ありがとうと…」命の恩人に会いたいというちばさんの思いが、父親の会社、かくまわれた場所、小学校と訪ねていくうちに、当時の記憶や思い出が蘇ることでより強くなっていきます。地元テレビ局や周囲の手助けなどもあり、ちばさんは恩人のもとへと導かれていきます。

番組活用のポイント

歴史的視点から歴史や平和学習の教材として

さまざまな地域(沖縄、広島、長崎など)を題材にした平和学習の番組は数多く存在します。この番組は、終戦から祖国へ戻るまでのちばさん一家が中国で経験した史実を元にドキュメンタリー調に制作されています。「一家が普通に暮らしていた日々から迫害を受け逃げまとう日々への変化」から「敗戦後の、中国での日本の立場の大転換」をとらえることができます。以下にも示していますが、番組は、平和学習のみならず、ちばさんの心情に寄り添って授業を展開することで、道徳教材としても十分活用できるため、各授業者の授業のねらいにそって視聴時間と授業時間を設定することをおすすめします。

ちばさんの思いから道徳の教材として

「今の自分があるのは恩人のおかげ…」漫画家として成功したちばさんは、戦後無事に中国大陸から祖国へ生還することができたのは、かくまってくれた中国人一家のおかげと信じています。学習指導要領道徳教育の内容「2(2) だれに対しても思いやりの心をもち、相手の立場に立って親切にする。」(小学校高学年)「4(2) だれに対しても差別をすることや偏見をもつことなく公正、公平にし、正義の実現に努める。」(小学校高学年)「2(2) 温かい人間愛の精神を深め、他の人々に対し思いやりの心をもつ。」(中学校)を、番組中でのちばさんや中国人一家の視点から学び取ることができ、感情をもって考えを深めながら視聴できる番組になっています。

事前学習として

社会(歴史・日本史)の学習として、満州事変、日中戦争の動画(NHKアーカイブス、高校講座など)を視聴すると、ちばさん一家の体験の歴史的背景や起因など詳細を学習するきっかけとなります。

学習展開例

授業時間 100分



宮古島市立
下地中学校
教諭 座間味浩二

新着

今があるのは恩人のおかげ 会って伝えたい感謝の気持ち

平和

時間配分	学習活動	教師の支援
7分	①満州事変について確認する。 ②ちばてつやさんの紹介をする。 ③発問:「あなたがこれまで生きてきて、一番感謝を伝えたい人は誰ですか」	○NHKアーカイブスなどの満州事変の動画を事前学習として視聴しておくといよ。 ○ちばてつやさんの功績として作品をいくつか紹介する。 ○ちばさんには、中国に戦時中の命の恩人がいてその人に会いに行くという大雑把な説明にとどめておく。
50分	④メモをとらせながら番組を視聴する。  視聴 ちばさんの漫画の原点。幼少期、工場敷地内に落ちていた紙の切れ端に絵を描いていた。  恩人の徐さんに会うことができたと感じたが、人違いだった。  自分を助けてくれた家族に会うことができ、この旅の目的が達成されるが…。	○必要に応じてメモをとらせる。 ○ちばさんの心情や敗戦前後の日本の立場を意識しながら番組を視聴し、メモをとらせる。 ○場面が変わるたびに番組を一時停止し、メモをとらせるといよ。 ・中国の生活でゆかりある場所(開始～12分56秒) ・徐さんに会う(人違い)(12分56秒～17分29秒) ・徐さん一家に会う(17分29秒～終わり) ※50分設定の授業の場合は(17分29秒～終わり)の視聴にする。
13分	⑤番組を見て感じたことや考えたことを交流する。	○全員の意見が交流できるように1グループ3～4名程度で編成する。
30分	⑥各グループで出たさまざまな意見をグループごとに発表する。 ⑦感謝を伝えたい人へお礼のコメント(または手紙など)を書こう。	○50分で授業を完結する場合は発表のみにとどめておく。 ○簡単な感謝の意を述べるにとどまらず、自分の生き方や考え方を方向づけたきっかけを与えてくれた人に、心を込めて書く。

コラム

満州事変とは

1931年9月18日、満州(現中国東北部)の奉天(現瀋陽)郊外の柳条湖で、日本の関東軍が南満州鉄道の線路を爆破、関東軍はこれを満州にいた張学良の軍隊の破壊工作だとして、軍事行動を拡大し、5か月の間に満州全土を占領した。この武力紛争を日本では満州事変、中国では九一八事変と呼ぶ。

日本は1932年に「満州国」を樹立した。しかしこれは国際社会から批判され、日本は1933年に国際連盟を脱退した。また、現地の抗日運動や中国国民政府との対立・衝突も激しくなっていた。

番組中に九一八歴史博物館が出てくるが、館内は「侵略」と「抗日戦争」の歴史が、ジオラマなどを多用した展示により表されている。